

# 第4期栗原市食育推進計画の概要

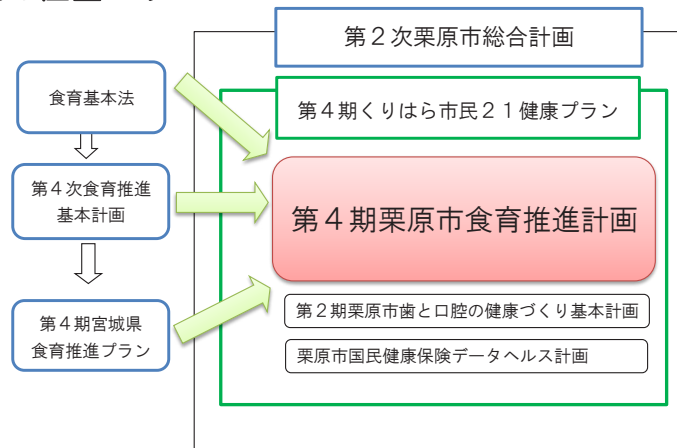
## 第1章 計画策定の趣旨

### 1 計画策定の背景

平成30年3月に「第3期栗原市食育推進計画」を策定し、食育の基本である市民（個人・家庭）が主役となり、関係機関や団体が連携を図りながら食育を推進してきました。

令和4年度が計画の終期にあたることから、目標の達成状況等の評価・見直しを行い、食をととした市民の健康づくりの推進や地域ぐるみで食文化の伝承を一層推進するため、各ライフステージにおける具体的な取り組み内容を明記した計画策定を行いました。

### 2 計画の位置づけ



### 3 計画の期間

令和5年度から令和9年度までの5年間とします。

## 第2章 栗原市の食をめぐる現状と課題

### 1 栗原市の食をめぐる現状

以下の方法により、栗原市の食をめぐる現状について把握しました。

#### ・「食に関するアンケート」

（個人）12,005人へ実施、回収率67.5%

（施設）市内の保育所・幼稚園・小学校等

#### ・市で実施している健康診査結果等

### 2 第3期計画の達成状況

<目標達成状況>（全42指標）事業の実施状況を踏まえた比較・分析を行い総合的に評価を行いました。

目標達成状況	指標数	割合
A:目標達成	6	14.3%
B:改善傾向	8	19.0%
C:ほぼ変化なし	20	47.6%
D:悪化傾向	6	14.3%
E:評価不能	2	4.8%

### 3 特に重点的に取り組むべき課題

食に関するアンケート及び第3期計画の達成状況より見えてきた課題について分析し、特に重点的に取り組むべき課題について、第4期計画に向け3つにまとめました。

- ①肥満者（児）の割合が国・県を上回っている
- ②食品表示を気にする人の割合が半数以下である
- ③くりはらの食は知っているが、地元産を目安に買う人は少ない

以上の課題と第3期計画による取り組みの進捗状況を踏まえ、市民（個人・家庭）が主役となり、教育機関、関係機関・団体、行政等が連携を図りながら食育の推進に取り組んでいくため、次のように基本理念と目標を掲げます。

## 第3章 計画の基本理念と目標

### 第4章 重点施策と目標値

#### 1 食育推進の基本理念

健康で心豊かな活力ある栗原の実現

#### 2 食育推進の基本目標と行動目標、基本目標を達成するための重点施策

基本目標1  
健全な食生活と心身の健康増進を地域ぐるみで目指しましょう

- 行動目標 1 市民一人ひとりが「食」を楽しみ、健全な食生活を実践する  
行動目標 2 地域ぐるみで食育を推進する

重点施策	具体的施策
重点施策1 生きる力を育てる食育	(1)望ましい食習慣の形成を促進 (2)楽しく食べる環境づくり
重点施策2 「食」をととした健康づくりの推進	(3)健全な食生活の実践を促進 (4)食の安全・安心の推進

基本目標2  
栗原市の恵まれた自然で育まれた食をいただき、その食文化を伝承しましょう

- 行動目標 3 栗原市の自然や「食」に感謝し、地産地消を推進する  
行動目標 4 栗原市の伝統的な食文化を大切に守り、伝承する

重点施策	具体的施策
重点施策3 くりはらの食を地域ぐるみで伝承	(5)食文化を次世代へ伝える (6)地場産品の活用促進 (7)食育推進の環境づくり

食育は生きる上での基本であることを念頭に置き、3つの重点施策を連動させながらライフステージに応じた取り組みを強化していきます。

重点施策1	生きる力を育てる食育
重点施策2	「食」をととした健康づくりの推進
重点施策3	くりはらの食を地域ぐるみで伝承

【ライフステージに応じた取り組み】

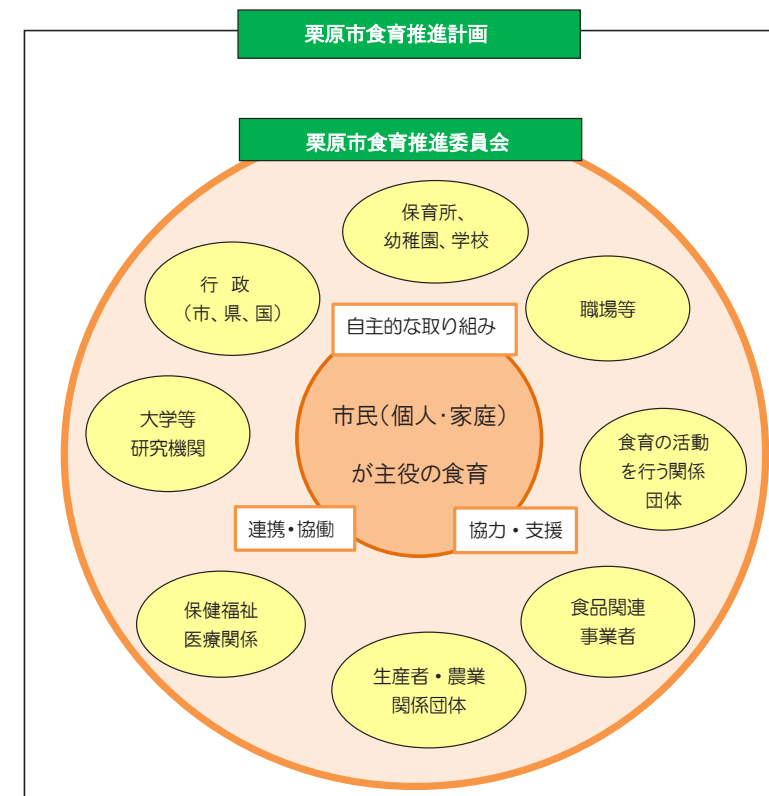
乳幼児期	おおむね0～5歳	望ましい食習慣の基礎づくり
学童期	おおむね6～12歳	望ましい食習慣の定着
思春期	おおむね13～18歳	食の自立に向けた望ましい食習慣の実践
青年期	おおむね19～39歳	健全な食生活の実践
壮年期	おおむね40～64歳	健全な食生活の維持と健康管理
高齢期	おおむね65歳以上	個々の健康状態に合わせた豊かな食生活の実践

市民（個人・家庭）が主役となり、関係機関や団体と連携し食育を推進する

## 第5章 計画の推進体制

第4期計画の推進にあたっては、市民（個人・家庭）が主役となり、地域・関係機関・行政が一体となり取り組んでいくことが必要です。

また、栗原市食育推進委員会において目標の達成に向けた計画の進行管理・関係機関の調整等を行ってまいります。



第3章 計画の基本理念と目標

第4章 重点施策と目標値

基本理念	基本目標	行動目標	重点施策と具体的施策	目標値一覧 ※新たな指標や目標を設定、または見直した項目は表中に色付けしています。																																																															
健康で心豊かな活力ある栗原の実現	1 健全な食生活と心身の健康増進を地域ぐるみで目指しましょう	1 市民一人ひとりが「食」を 楽しみ、健全な食生活を 実践する	重点施策1  生きる力を 育てる食育	(1) 望ましい食習慣の形成を促進 ①朝食摂食の推進 ②子どもの適正体重維持の推進 ③「食」に関する正しい知識の習得 ④「食」の自立に向けた技術の向上 (2) 楽しく食べる環境づくり ①「新しい生活様式」の中で家族や仲間と工夫して 一緒に食卓を囲む「共食」の推進 ②食品ロス削減の推進 ③正しい食事のマナーを啓発	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>対象</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①毎日朝食を食べる人の割合が増える</td> <td>中学2年生</td> <td>78.7%</td> <td>90%以上</td> </tr> <tr> <td>高校3年生</td> <td>68.9%</td> <td>90%以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">②肥満者(児)の割合が減る</td> <td>5歳児</td> <td>7.7%</td> <td>5%以下</td> </tr> <tr> <td>小学5年生</td> <td>19.1%</td> <td>19%以下</td> </tr> <tr> <td>中学2年生</td> <td>15.7%</td> <td>13%以下</td> </tr> <tr> <td>高校3年生</td> <td>16.2%</td> <td>12%以下</td> </tr> <tr> <td>30代以上男性</td> <td>37.2%</td> <td>25%以下</td> </tr> <tr> <td>40代以上女性</td> <td>28.4%</td> <td>25%以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">③食前・食後のあいさつをする人の割合が増える</td> <td>中学2年生</td> <td>89.9%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>高校3年生</td> <td>83.9%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>成人</td> <td>67.9%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④箸を正しく持てる人の割合が増える</td> <td>5歳児</td> <td>54.7%</td> <td>70%以上</td> </tr> <tr> <td>小学1年生</td> <td>63.9%</td> <td>90%以上</td> </tr> <tr> <td>⑤食品ロス削減のため何らかの行動をしている市民の割合が増える(新規)</td> <td>成人</td> <td>—</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>⑥食事の前に手洗いをする人の割合が増える</td> <td>5歳児</td> <td>64.4%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑦三色食品群の赤(主菜)・緑(副菜)・黄(主食)の食品がわかる</td> <td>小学1年生</td> <td>23.8%</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>小学5年生</td> <td>56.2%</td> <td>60%</td> </tr> </tbody> </table>	指標	対象	現状値	目標値	①毎日朝食を食べる人の割合が増える	中学2年生	78.7%	90%以上	高校3年生	68.9%	90%以上	②肥満者(児)の割合が減る	5歳児	7.7%	5%以下	小学5年生	19.1%	19%以下	中学2年生	15.7%	13%以下	高校3年生	16.2%	12%以下	30代以上男性	37.2%	25%以下	40代以上女性	28.4%	25%以下	③食前・食後のあいさつをする人の割合が増える	中学2年生	89.9%	100%	高校3年生	83.9%	100%	成人	67.9%	100%	④箸を正しく持てる人の割合が増える	5歳児	54.7%	70%以上	小学1年生	63.9%	90%以上	⑤食品ロス削減のため何らかの行動をしている市民の割合が増える(新規)	成人	—	80%	⑥食事の前に手洗いをする人の割合が増える	5歳児	64.4%	100%	⑦三色食品群の赤(主菜)・緑(副菜)・黄(主食)の食品がわかる	小学1年生	23.8%	25%	小学5年生	56.2%	60%
		指標	対象	現状値	目標値																																																														
	①毎日朝食を食べる人の割合が増える	中学2年生	78.7%	90%以上																																																															
		高校3年生	68.9%	90%以上																																																															
	②肥満者(児)の割合が減る	5歳児	7.7%	5%以下																																																															
		小学5年生	19.1%	19%以下																																																															
中学2年生		15.7%	13%以下																																																																
高校3年生		16.2%	12%以下																																																																
30代以上男性		37.2%	25%以下																																																																
40代以上女性		28.4%	25%以下																																																																
③食前・食後のあいさつをする人の割合が増える	中学2年生	89.9%	100%																																																																
	高校3年生	83.9%	100%																																																																
	成人	67.9%	100%																																																																
④箸を正しく持てる人の割合が増える	5歳児	54.7%	70%以上																																																																
	小学1年生	63.9%	90%以上																																																																
⑤食品ロス削減のため何らかの行動をしている市民の割合が増える(新規)	成人	—	80%																																																																
⑥食事の前に手洗いをする人の割合が増える	5歳児	64.4%	100%																																																																
⑦三色食品群の赤(主菜)・緑(副菜)・黄(主食)の食品がわかる	小学1年生	23.8%	25%																																																																
	小学5年生	56.2%	60%																																																																
2 栗原市の自然や食文化を地域ぐるみで伝承する	重点施策2  「食」とお した健康づ くりの推進	(3) 健全な食生活の実践を促進 ①バランスの良い食事の定着を促進 ②成人の適正体重維持の推進 ③フレイル予防の推進 ④ゆっくりよく噛んで食べることの普及 (4) 食の安全・安心の推進 ①食の衛生管理(安全・安心)の推進 ②食品表示法に関する正しい知識の普及	<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="3">⑧主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている人の割合が増える</td> <td>中学2年生</td> <td>61.8%</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>高校3年生</td> <td>57.6%</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>成人</td> <td>58.6%</td> <td>65%</td> </tr> <tr> <td>⑨1日3回野菜(漬物を除く)を食べる人の割合が増える</td> <td>成人</td> <td>54.2%</td> <td>60%以上</td> </tr> <tr> <td>⑩ゆっくりよく噛んで食事をする人の割合が増える</td> <td>成人</td> <td>61.9%</td> <td>65%</td> </tr> <tr> <td>⑪栄養成分表示を参考にしている人の割合が増える</td> <td>成人</td> <td>46.2% (食品表示を気にしている人の割合)</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>⑫減塩調味料や減塩食品を知っている人の割合が増える(新規)</td> <td>成人</td> <td>—</td> <td>30%以上</td> </tr> </tbody> </table>	⑧主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている人の割合が増える	中学2年生	61.8%	70%	高校3年生	57.6%	70%	成人	58.6%	65%	⑨1日3回野菜(漬物を除く)を食べる人の割合が増える	成人	54.2%	60%以上	⑩ゆっくりよく噛んで食事をする人の割合が増える	成人	61.9%	65%	⑪栄養成分表示を参考にしている人の割合が増える	成人	46.2% (食品表示を気にしている人の割合)	60%	⑫減塩調味料や減塩食品を知っている人の割合が増える(新規)	成人	—	30%以上																																						
⑧主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている人の割合が増える	中学2年生	61.8%	70%																																																																
	高校3年生	57.6%	70%																																																																
	成人	58.6%	65%																																																																
⑨1日3回野菜(漬物を除く)を食べる人の割合が増える	成人	54.2%	60%以上																																																																
⑩ゆっくりよく噛んで食事をする人の割合が増える	成人	61.9%	65%																																																																
⑪栄養成分表示を参考にしている人の割合が増える	成人	46.2% (食品表示を気にしている人の割合)	60%																																																																
⑫減塩調味料や減塩食品を知っている人の割合が増える(新規)	成人	—	30%以上																																																																
3 栗原市の自然や食文化を地域ぐるみで伝承する	重点施策3  くりはらの食 を地域ぐるみ で伝承	(5) 食文化を次世代へ伝える ①くりはらの食の伝承 ②食体験を通じた感謝の心の育成 ③世代間交流をとおして昔ながらの知恵を学ぶ ④日本型食生活(和食)を伝える (6) 地場産品の活用促進 ①地元で取れる食材の普及啓発 ②栗原市の食材を家庭や給食施設等で積極的に活用 ③6次産業化による農林水産物の利用促進 (7) 食育推進の環境づくり ①市民が主役の食育を推進 ②食に関する情報の共有 ③情報発信	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>⑬学校給食での地場産品利用割合が増える</td> <td>学校給食</td> <td>25.1%</td> <td>35%以上</td> </tr> <tr> <td>⑭主に地元産を目安に食べている人の割合が増える</td> <td>成人</td> <td>42.7% (地元産を買っている割合)</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑮くりはらの食を知っている人の割合が増える</td> <td>中学2年生</td> <td>59.9%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>成人</td> <td>52.7%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>⑯家庭でくりはらの食や郷土料理を月1回以上食べている人の割合が増える(新規)</td> <td>成人</td> <td>—</td> <td>50%以上</td> </tr> <tr> <td>⑰食生活改善推進員の地区充足率が上がる</td> <td>世帯数</td> <td>81.4%</td> <td>85%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑱食に関する活動を、PTAや地域住民の協力のもと行う割合が増える</td> <td>市内保育所</td> <td>8.3%</td> <td>60%以上</td> </tr> <tr> <td>市内幼稚園</td> <td>81.3%</td> <td>90%以上</td> </tr> <tr> <td>市内小学校</td> <td>33.3%</td> <td>80%以上</td> </tr> <tr> <td>⑲各種団体のネットワークを活用した食育活動が増える(新規)</td> <td>各関係機関との連携実施回数</td> <td>224回</td> <td>230回</td> </tr> </tbody> </table>	⑬学校給食での地場産品利用割合が増える	学校給食	25.1%	35%以上	⑭主に地元産を目安に食べている人の割合が増える	成人	42.7% (地元産を買っている割合)	50%	⑮くりはらの食を知っている人の割合が増える	中学2年生	59.9%	100%	成人	52.7%	100%	⑯家庭でくりはらの食や郷土料理を月1回以上食べている人の割合が増える(新規)	成人	—	50%以上	⑰食生活改善推進員の地区充足率が上がる	世帯数	81.4%	85%	⑱食に関する活動を、PTAや地域住民の協力のもと行う割合が増える	市内保育所	8.3%	60%以上	市内幼稚園	81.3%	90%以上	市内小学校	33.3%	80%以上	⑲各種団体のネットワークを活用した食育活動が増える(新規)	各関係機関との連携実施回数	224回	230回																											
⑬学校給食での地場産品利用割合が増える	学校給食	25.1%	35%以上																																																																
⑭主に地元産を目安に食べている人の割合が増える	成人	42.7% (地元産を買っている割合)	50%																																																																
⑮くりはらの食を知っている人の割合が増える	中学2年生	59.9%	100%																																																																
	成人	52.7%	100%																																																																
⑯家庭でくりはらの食や郷土料理を月1回以上食べている人の割合が増える(新規)	成人	—	50%以上																																																																
⑰食生活改善推進員の地区充足率が上がる	世帯数	81.4%	85%																																																																
⑱食に関する活動を、PTAや地域住民の協力のもと行う割合が増える	市内保育所	8.3%	60%以上																																																																
	市内幼稚園	81.3%	90%以上																																																																
	市内小学校	33.3%	80%以上																																																																
⑲各種団体のネットワークを活用した食育活動が増える(新規)	各関係機関との連携実施回数	224回	230回																																																																
4 栗原市の伝統的な食文化を大切にする																																																																			

第6章 具体的な食育の取り組み

第4期計画では、市民(個人・家庭)が主役となり、様々な関係機関・団体等が連携し、みんなで支え合う食育を推進します。また、食育は各世代に応じた推進が必要となることから、それぞれのライフステージあわせた食育に取り組みます。

第7章 計画の進行管理・評価

栗原市食育推進委員会において、毎年取り組みの確認や評価を行い令和9年度に最終評価を行います。本計画を設定した評価指標に基づき、国や県が実施する調査や市が実施する健診やアンケート調査等の統計データをもとに現状を把握し、客観的に評価します。